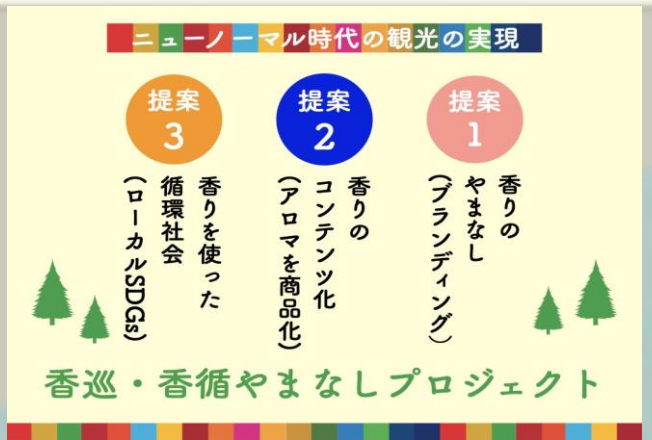


チーム名	山梨県立大学杉山ゼミ	大学・学部	山梨県立大学 国際政策学部	持続可能な観光まちづくり ステージ
プラン名称	香る、やまなし～香巡・香循で好循環を実現させる持続可能な観光～			
リーダー名	石井小有妃	テーマ	①来訪や交流を促進する、ニューノーマル時代を見据えた「観光まちづくり」	大学生観光まちづくり コンテスト運営協議会 事務局長賞
指導教職員名	杉山歩			
メンバー名	石場優花 山本有彩 大沼泰己 石井唯 松浦彩里 大志田侑里 高橋幸之介 横森 早紀			

**①観光の現状**

政府はワーケーションを推奨している。  
労働生産性が先進国最下位の日本で  
遊びながら働けるのだろうか？  
↓  
観光は経済を回す手段ではない。  
コロナ禍で変化した生活から  
観光の本質を追求していく。



**④提案2～コンテンツ化～**

江戸時代に富嶽三十六景によって富士山が知られていたように、富士山に来たことがない人でも楽しめるコンテンツとなっていた。  
↓  
山梨をの香りをコンテンツとして楽しんでもらい、いつか「来たい」と思ってもらいたい。beforeコロナでは直接見たり食べることによる直接消費をしていたが、afterコロナでは富嶽三十六景のようにコンテンツ消費にする。

具体案：1. 山梨の自然の香りをアロマでコンテンツ化する。  
2. マスクに香り付けできるスプレーをコンテンツにする。



**②コロナ禍で変化した日常 オンライン**

1. マルタスクができるオフラインに比べ、オンラインはシングルタスクしかできずに時間がかかる。

2. オンライン化によって視覚と聴覚のみを使うことが激増した。

**③観光の本質**

移動が制限されていた江戸時代、人々はお伊勢参りや参勤交代などの理由があることで観光ができていた。  
↓  
観光の本質は、オンラインでは実現できないこと。  
↓  
それは、「五感を使う」こと。

**③提案1～香りのやまなし～**

山梨の春夏秋冬の香りを楽しんでもらいたい

- ・桃は嗅覚と味覚  
→味覚だけで無く嗅覚でも楽しむ。
- ・薔薇は嗅覚  
→薔薇にはホルモンバランスを整える効果やリラックス効果がある。
- ・杉・ひのきは嗅覚と触覚  
→森林浴にはリラックス効果や脈拍数の減少効果がある
- ・ワイン・ぶどうは嗅覚と味覚  
→日本最高峰のワインとぶどう
- ・線香は嗅覚  
→空間の浄化だけでなく精神のデトックス効果がある



**⑤提案3**

～リピーターを呼ぶ循環戦略～  
インスタ映えのを狙う観光ではリピートしてもらえない。森の豊かさを守り、かつ観光客がリピートしてることが必要。  
→香りのサブスク化。  
これは、SDGs達成に貢献する循環型の観光である。観光客は「香り（自然）の豊かさを守る人」となる。

循環のシステム：一度アロマオイルを購入し、その後は山梨で森林維持活動をするすると瓶にアロマを入れてもらえる。アロマが無くなったらまた山梨に来て森林維持活動をしてアロマをもらう。



**ニューノーマル時代の観光実現プラン**

1. 香りのやまなし
2. コンテンツ化
3. リピーターを呼ぶ循環戦略